

＜競技取り決め事項＞

1. ルールは（公財）日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に、次の事項を追加・修正し、使用する。
 - (1) 試合球は、5号人工皮革ボールを使用する。
 - (2) 同点の場合は、延長戦を行う。ただし、1日目の敗者戦・2日目の交歓ゲームについては、延長戦を行わない。
 - (3) コーチまたはアシスタントコーチのどちらか一人だけはゲーム中に立ち続けてもよい。
 - (4) 1日目第1試合時に、開会宣言を行ってから試合開始とする。両チームの1クォーター出場選手はセンターサークル付近に整列する。
 - (5) 試合開始・終了後にベンチ入りした選手全員がセンターサークル付近に整列して挨拶と握手を行う。
 - (6) 試合を行うときには、ベンチ横の所定の位置に大会本部が用意した各チームのプラカードを立てる。
2. 第2・第4クォーターに出場する選手は、前のクォーターが残り2分を過ぎてから、試合に支障がないようボールを使わない方法でウォーミングアップを始めても良い。その場所は、ベンチの後方とする。ただし、ベンチの後方スペースが取れない場合は、ベンチのエンドライン側の延長上のスペースとする。
3. 第1・第3クォーター後のインターヴァルおよびハーフタイムは、次のクォーターの登録を済ませてからとする。
4. ハーフタイムには、次のゲームのチームは練習することはできない。
5. 次のゲームのチームがコートに出てくるのは、前のゲームの第4クォーターが始まってからとし、進行に支障がないように留意すること。
6. コートが空いている場合は、次のゲームの両チームが試合開始20分前から使用することができる。大会両日の第1試合開始前の練習については別途定め事前に告知する。
7. 1日目の代表者会議終了時まで、大会指定のメンバー表を5部大会本部に提出する。
8. 組み合わせ表左側のチームが、オフィシャル席に向かって右側のベンチを使用し、ユニホームは淡色を着用する。
9. 前のゲームの終了が遅れた場合は、ゲーム終了10分後に次のゲームを開始する。
10. 各チームのベンチは、チームスタッフおよび選手の交代要員の場であるので、メガホンを使用した指示や応援をしてはならない。また、うちわも選手をあおぐために使用するのはよいが、音をたてて応援に使用してはならない。その他ペットボトル等を使用して音をたてて応援してはならない。
11. 2日目の交歓ゲームの組み合わせは、1日目の最終ゲーム終了後、メインアリーナ入口付近に掲示する。